

水俣病研究

のため来日

月末、ソ連の二医師

このほどソ連保健省対外関係局から熊本日ソ親善協会（久保一朗会長）あてに「月末、水俣病研究のため二人の医師が六カ月間の予定で来日する」と連絡が届いた。

連絡によると、チガノフ・セルゲビツチ、カーメンスカヤ・ミワイロフナさん二人でともに神経科の医師。水俣病を神経科の面から研究しようというもので、熊大研究陣と共同研究することになっている。ソ連の医師が水俣病研究のため来日するのは初めて。

ソ連の公害問題はまたあまり出しておらず、日本の実例を研究して今後の資料にしようというのがねらい。協会でも二十二日県福祉会館で理事会（神山清喜理事長）を開き、受け入れ態勢について協議した。